

みやぎ社保協 FAXNEWS

2022年10月21日 FRI No.925

「人権としての社会保障制度」 の運動推進を！

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13
宮城県社会保障推進協議会
Tel 022-223-0566 / Fax 022-223-0977
e-mail miyagisyahokyo@bz04.plala.or.jp

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会 第四回総会 「子どもの歯科矯正アンケート」1722件の報告



10/15 (土)「保険でより良い歯科医療を」宮城の会 第四回総会・記念講演が行われ30名が参加。総会では「より良い歯科医療を提供できる制度の拡充」等を求めるアピールを採択しました。

総会後には歯科医の遠藤医師を迎えての記念講演と「保険で子どもの歯科矯正アンケート」市民1722件の報告が行われ、歯の矯正治療が保険適用外であるため、学校歯科健診で歯並び・かみ合わせの指摘を受けても「経済的理由」等、費用面での理由として受診していない現状などが報告されました。

(写真/井上共同代表の開会挨拶)

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会第4回総会アピール

私たち、保険でより良い歯科医療を宮城の会は、昨年10月に第3回総会を開催し、「保険でより良い歯科医療を」全国連絡会に結集し、みやぎ生協での出前学習会（2021年11月24日、2022年6月29日）、県民対象の歯の何でも電話相談（2021年11月27日）、県民と養護教諭を対象にした子どもの歯科矯正保険適用拡充アンケートなど、様々な活動に取り組んできました。

2021年5月27日、世界保健機関（WHOの第74回世界保健総会において、口腔保健の歴史的な決議が承認されました。

この決議が出された理由は、近年の研究で口腔保健の様々な重要性が明らかになったためです。口腔保健の決議で述べられた口腔保健の重要性として、口腔疾患（歯科疾患）の有病率が極めて高いこと、そのため経済的負担も大きいこと、貧困層や社会的に不利な立場にある人々に多く発生する「健康格差」が存在すること、などが挙げられています。

日本において、年々減少傾向にある子どものむし歯でも、学校保健統計でトップレベルの有病率となっています。高齢者ではむし歯や歯周病や歯の喪失に苦しむ人の数は増加しています。日本全体の合計医療費（国民医療費）を疾病別でみると、循環器疾患・がんに次いで歯科疾患は3位、64歳以下では歯科疾患が最も高くなっています。有病率が高いと健康格差も大きくなります。まさに、お口の健康問題は世界的な問題となっています。

ある調査では6割以上の方がコロナ禍の歯科通院に不安を感じており、ほとんどの人が歯科医院の感染対策を気にしていることがわかりました。歯科医院の多くは、院内の衛生管理を徹底しています。院内感染のリスクを避けるために、コロナウイルスの流行以前から治療器具の滅菌処理はもちろん、診療室や待合室の感染対策を行っているところがほとんどですので、安心して通院することができます。口内環境を良好に保つことは体内の免疫力がアップすると言われていています。この時期だからこそ、口腔ケアの普及をはかることが大切です。

一方、私たちを取り巻く環境は、社会保障政策の縮小、保健所の統合・縮小、宮城県内の公的4病院統合移転など、社会保障制度の大幅な改善・充実に逆行する政策がすすめられています。

私たちは「患者窓口負担の軽減」「保険のきく歯科医療の拡大」「より良い歯科医療を提供できる制度の拡充」を大きな柱として掲げ、これらの社会問題を解決するために活動していきます。

2022年10月15日

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会第4回総会